

● 備蓄品や非常持出品を準備していますか？

- 災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。また、すぐ取り出せる場所に非常持出品を準備しておきましょう。
- 備蓄する量の目安は**最低3日分**です。

～備蓄品～

- 飲料水**
1人3日分で9ℓが目安です。
(例) 3人家族の場合
3人×9ℓ=27ℓ
- 食料品**
クラッカーなど調理せずに食べられるもの、缶詰(缶切りが不要なもの)など
※食料アレルギーのある方は、自分に適したものを準備するようにしましょう。
- トイレパック**
家庭のトイレなどに設置して使用する「凝固剤」と、「処理袋」のセットです。ホームセンターなどで購入できます。

～非常持出品～

- 懐中電灯・ランタン**
予備電池も用意しましょう。
- 携帯ラジオ**
AM、FM両方聞けるものを用意し、予備電池は多めに用意しましょう。
- 貴重品**
現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証
- その他**
紙皿、紙コップ、救急医薬品(ばんそうこう)、常備薬、携帯電話充電器、ウェットティッシュ、生理用品、ビニール袋、タオル、軍手、食品用ラップ

● こんな家庭にはこんな非常持出品も!!

- 乳幼児のいる家庭で用意するもの**
ミルク、母乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、おしりふき、着替え、ベビー毛布、おんぶひも、乳幼児のおもちゃ

- 専任介護者のいる家庭で用意するもの**
着替え、おむつ、障害者手帳、補助具等の予備
- 妊婦のいる家庭で用意するもの**
さらし、脱脂綿、ガーゼ、母子手帳、新生児用品

過去の大地震経験者から学ぶ～被災時によってよかったもの～

過去の大地震では、断水が起きたため、生活用水(洗濯、入浴、洗面)やトイレ、飲食用の水で困った人が多くいました。そこで、水の備蓄はもちろんです。水を選ぶポリタンクや台車、身体をぶくウエットティッシュが特に役立ったと言われています。

また、停電やガスの不通によって、食事や家族間の連絡で困った人も多くおり、懐中電灯や携帯ラジオ、携帯電話充電器、乾電池、卓上コンロも重宝されました。

さらに、女性については、生理用品などの備蓄も役立ったと言われています。



自らつくる

自宅からの避難場所・避難経路を地図に描き入れることで、家族で共有できる、心がまえができる

南区 防災マップ

MINAMIKU

BOUSAI MAP

作成ガイド

誰でも簡単に作れる!

倉

減災

- キットに入っているもの
- 作成ガイド (このリーフレット)
- 防災マップ (白地図)
- シール

「いつか」に備えて、「自分」のために、「大切な人」のために。

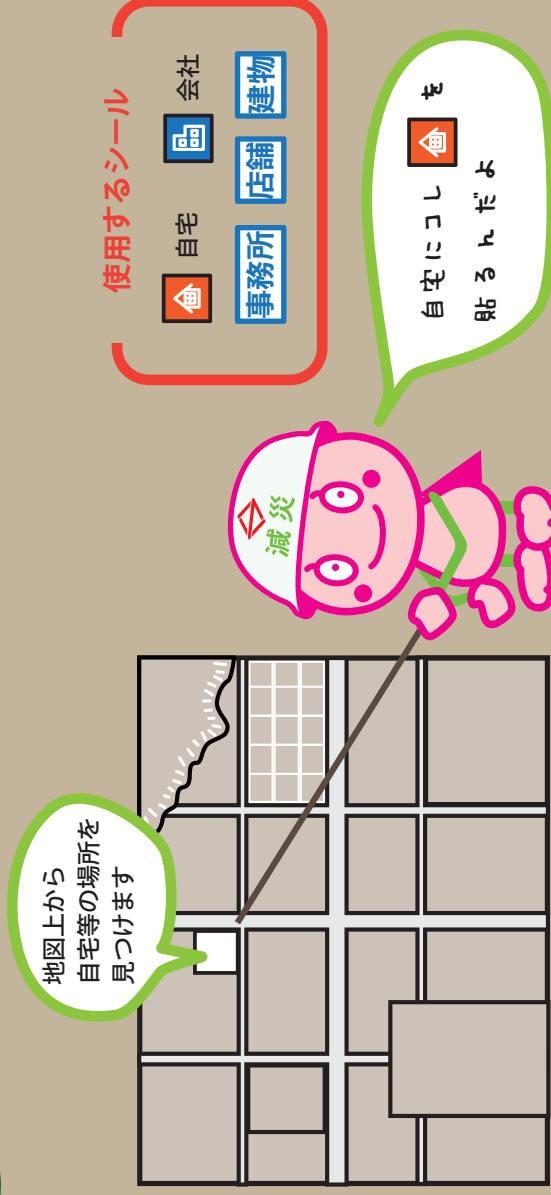
この「自らつくる南区防災マップ」は、「自宅」や「勤務先」からの避難先と避難路を地図上に落とし込むことで、あなただけの防災マップをつくることができます。「自らつくる」ことで、今まであまなかった

部分がすっきりと整理でき、作業を通じて、たとえば家族の間で情報を共有することができます。日頃の備えが「安心」を生むのです。この機会にぜひ、あなただけの防災マップをつくってみませんか。

防災マップ作成の手順

手順 01

自宅建物等を地図上で確認し、印をつけましょう。



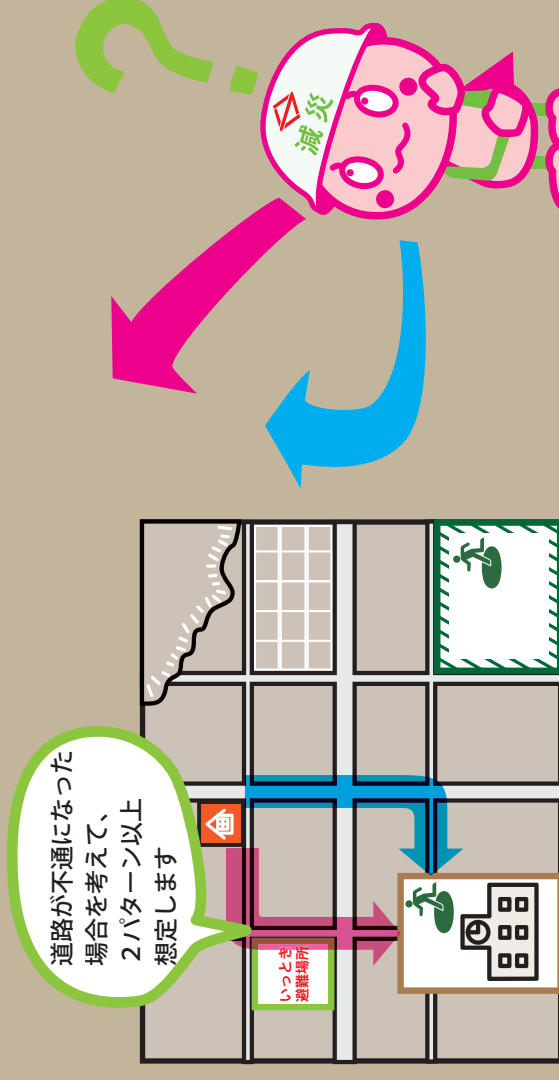
手順 02

自宅建物等近くの地域防災拠点、広域避難場所、いつとき避難場所を地図上で確認し、印をつけましょう。



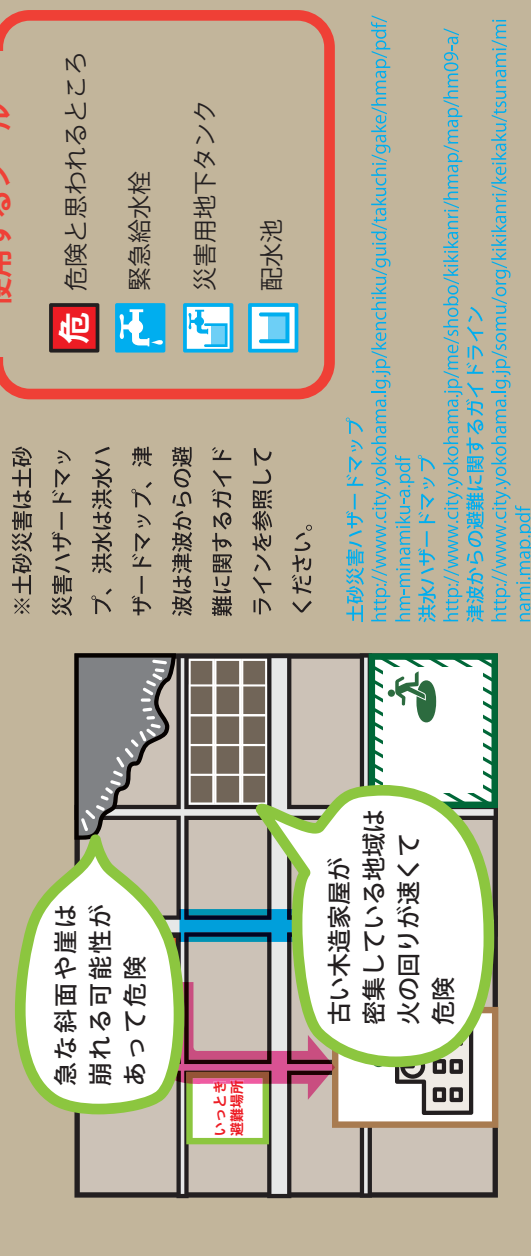
手順 03

自宅建物等から地域防災拠点、広域避難場所、いつとき避難場所へのコースを地図上に描き入れましょう。避難路はそれぞれ2パターン以上想定しておきましょう。



手順 04

土砂災害や洪水、津波発生時に危険な箇所をマークしておきましょう。また、緊急給水栓や災害用地下タンクなどの場所も確認しましょう。



土砂災害ハザードマップ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/guid/takuchi/gake/hmap/pdf/hm-minami-a.pdf>
 洪水ハザードマップ
<http://www.city.yokohama.jp/me/shobo/kikikami/hmap/map/hm09-a/>
 津波からの避難に関するガイドライン
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikami/keikaku/tsunami/minami.map.pdf>